



障害者の方のためのパソコン講座 ワード・エクセル入門コース開催

財団法人三重ボランティア基金(野呂明彦理事長)から助成金の交付を受けて、CTF 松阪が主催して開催しているパソコン講座の第二弾、ワード・エクセル入門コースが開催されました。(写真右)

このコースは、これまでに開催したパソコン入門コースを修了された方、またはそれと同等の知識・技能をお持ちの方を対象として、ワードとエクセルの操作を修得していただくように計画されたもので、4日間のコースが2コース開催され、11名の方が熱心に受講されました。

ワードとエクセルの操作技術を約10時間で修得するという、時間的にかなり厳しい講座でありましたが、受講者の熱意と飛び入りで参加して下さったボランティアの補助指導員の協力で、予定どおり終了し、所期の目的は達成されました。

今年度の講座はワード応用コースを残すのみとなりましたが、このワード応用コースは受講希望者が定員に達しましたので受講申込受付を終了いたしました、ご了承ください。



6月6日から11日まで、RP三重支部設立10周年を記念してニュージーランド旅行をしました。

私達三重支部の会員に三重オーストラリア・ニュージーランド協会の会長(宮本忠氏)とその協会員にご支援していただき、日本を発ちました。

最高の旅行と思い出を作り10年の節目をクリアした気持ちで一杯です。

現地で、ロトルアの視覚障害者協会の会員20名ほどの人達と交流会を持って楽しい一時を過ごしました。

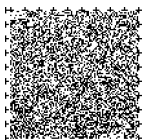
オークランドではNZRPSの役員とこちらの役員によって意見交換を親しく交わし、交友を深めてまいりました。

ロトルアでは、テルメリゾートに3泊して、その周辺のファカレワレワ間欠泉・ワイオタブ地熱景観・フライパン湖・ドロポーズなどと他にも絶景なところを見て回りました。

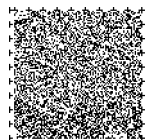
オークランドへ1泊して、オークランド博物館では原住民のマウイ族のショーを見て、沢山の展示物に触ったり聞いたり体験してきました。

早いもので三重支部が設立してから、10年の歳月を迎えて歩いて来た道のりを振り返り見て、心新たにこの会の発展と医療の進歩の展望を期待して素晴らしい思い出を作って無事に全員が楽しく帰宅出来たことが何よりでした。

(MW)



今月号は文字数が多いので、1ページと2ページ、4ページにSPコードをそれぞれ2個ずつ付けてあります。1ページと2ページ、4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





I Pアドレス(Internet Protocol Address)

インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたコンピュータ1台1台に割り振られた識別番号のことで、32ビットの2進数が使われています。これを8ビットずつ4つに区切り、「219.50.206.37」などのように、0から255までの10進数の数字を4つ並べて表しています。

インターネットに接続されているコンピュータには、それぞれ違ったIPアドレスが割り振られており、世界で唯一の番号となります。これをグローバルIPアドレスといいます。グローバルIPアドレスは43億個しか無いので、必要な国、組織、プロバイダへと、分割して割り振られます。また、最初の8ビットで3つのクラスに分類されます。(これはネットワークの大きさを表す目安になります。)

クラス	最初の8ビット	アドレス数
クラスA	1~127	16,777,216
クラスB	128~191	65,536
クラスC	192~223	256

また、すべてのコンピュータにグローバルIPアドレス(世界で一つの番号)を割り振るのは不可能です。たまにしかインターネットに接続しないコンピュータにまでグローバルIPアドレスを割り振っていたら、IPアドレスは無くなってしまいます。そこで、直接インターネットに接続しないコンピュータ(LAN上のパソコンなど)のために、以下のIPアドレスが割り当てられており、自由に使うことができます。このIPアドレスを、グローバルIPアドレスと区別して、プライベートIPアドレスと呼びます。

クラス	プライベートIPアドレス
クラスA	10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
クラスB	172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
クラスC	192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

主に、プライベートIPアドレスは、会社や家庭のLAN内(イーサネット)で使われます。しかし、プライベートIPアドレスからはグローバルアドレス(インターネット)へは直接アクセスできないため、イーサネットとインターネットとの中継点(ゲートウェイ)でアドレスの変換を行なう必要があります。アドレスの変換は、ルーターのNAT/IPマスカレードといった機能を使います。

つづく

第5回市民がつくるUDのまちづくり県民講座開催のお知らせ

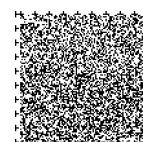
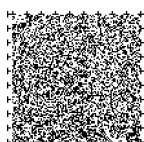
夢現会社バリアフリーが三重県の委託を受けて、次のとおり講演会を開催されます。

「人に優しい施設とは？」をテーマに、最新の施設である中部国際空港セントレアを題材とした講演です、皆様お誘いあわせのうえぜひご参加ください。(参加費は無料です)

日時：平成17年10月29日(土)午後1時30分~3時30分

場所：三重県松阪地方県民局6階大会議室(松阪市高町138)

講師：株式会社連空間設計 森崎泰宣氏





活動報告

【8月】

障害者の方のためのパソコン講座

ワード・エクセル入門コース ①

8日、9日、22日、23日

各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて

ワード・エクセル入門コース ②

29日、30日 各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて



活動予定

【9月】

精神障害者デイケア支援

1日 13:00~14:30

松阪市障害者福祉センターにて

障害者の方のためのパソコン講座

ワード・エクセル入門コース ②

5日、6日 各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて

ワード応用コース

12日、13日、26日、27日

各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて

障害者対象個人向けパソコン講座

20日 9:30~11:30

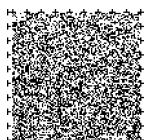
松阪市障害者福祉センターにて

白露・秋分

9月7日は白露、23日は秋分です。

これらは二十四節気の名前で、白露は、「秋気がようやく加わり、山野の草には白露が宿る時期」と言われています。

秋分は、「秋の中間点」と言われ、昼夜の長さがほぼ等しくなり、この日以後は夜の長さがだんだん長くなっていきます。



今月は、先月号につづき副会長岡野様からのご投稿です。
皆様方も日頃お考えの事を 600 文字ぐらいにまとめてご投稿ください。
お待ちしております。

バリアフリー的住宅建設顛末記(2)

取り壊して新築する部分と改造・補強して残置する部分との連絡も、間取りで頭を使って何とかうまく解決した。平成17年が明けよいよ着工の直前、新築部分の床の高さが従来のそれより約20cm高くなると建築士から話があった。『あゝそうですか・・・』ということなんだけど、残置する部分は2階建て、階段はどうなるんだらう？

その階段の最下段1段と同じ高さが床面になるとのこと、つまり段数が1段少なくなるわけである。それは別に何も問題はないのだが、問題はそこにある桁。これまでも階段を下りて来ると一番下で頭をぶつけそうになって、思わずかがんでしまうような状態であったのに、ここで床面が20cmも高くなると完全に頭いや顔をぶつけてしまうこととなる。建築士は私よりも背が高く、『なるほどそうですね、この桁を切り取って場所を変えましょう』というが、建物の東西に通っている桁を途中で切り取ってしまうもよいものか、それに代わる補強するとは言うものの、もとはと言えば地震対策を目的とした工事なので、すぐには返答することができず、とりあえず改造工事の着手は中止してもらうこととなった。

いろいろ考えを巡らせてはみたものの結局は、「一部を残すか」「全部壊すか」の二者択一、今のトレンド「もったいない」精神を活かせば一部を残すべきだらう、だが、安全性・機能性を重視すれば全部壊して建て替えるのがよいし、経済性とは言えばどちらも同じようなものということもあり、悩ましい問題が起きてきたものだ。

ああでもないこうでもない1週間も思案していると、もともと物事を深く考えるのが得意でない私たちは、『もういい加減にしてくれえ！！』という気になり、再び清水の舞台から飛び降りることとした。そのかわり、老夫婦が将来にわたって使いやすいように、車椅子生活になっても住めるように、もちろん大地震にも耐えることを条件にプランを作ることとした。

つづく



編集後記

「障害者の為のパソコン講座」みなさんの熱意に、参加させていただいている私たちも嬉しくなりました。
1人でも多くの方たちに、パソコンに馴染んでいただけるといいですね。



CTF 通信第30号

2005年(平成17年)9月発行
発行者 ITを活用した障害者支援 NPO 法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081 松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>

